

アークヒルズエリアを再定義 目指す街のイメージを共有化、エリアの魅力を伝える 「新ロゴマーク」「コンセプトブック」「ARK HILLS AREA GUIDE」

「アークヒルズ仙石山森タワー」の誕生は、真の国際都心形成に向けたアークヒルズエリアの本格始動を意味します。森ビルは、アークヒルズをより広いエリアと捉えて再定義し、“アークヒルズ”が日本を代表する国際都心の代名詞となるよう、その潜在力を最大化するべく、国際的かつ総合的な街づくりをエリア一体となって推進してまいります。

この街が何を目指し、どんな役割を担うのか——。この街に暮らす人、働く人、集う人が共有し、アークヒルズエリアの魅力をエリア内外の人々に広く発信するため、この度、アークヒルズのシンボルマークを一新、さらに、目指す街のイメージを共有化する「コンセプトブック」および、エリアの魅力を伝える「ARK HILLS AREA GUIDE」を作成しました。

■ アークヒルズのシンボル「新ロゴマーク」



アークヒルズのシンボルマークのコンセプトは、たくさんの「+（プラス）」。

垂直・水平方向に成長していくヴァーティカルガーデンシティの「+」。
職・住・商・憩・遊・学・育・医などの多彩な都市機能が集積する「+」。
たくさんの木々が集まっている様子の「+」。
ここに集まる人が、ここを舞台に過ごす豊かな時間や経験が堆積してゆく「+」。
人と人、ビジネスとビジネス、アイデアとアイデア、地方と東京、世界と東京…
様々なものをつなぐ「+」。

そしてアークヒルズが「輝く都市」として成長し、生成され続けることを、
このシンボルを通して、強くイメージしていきます。

■ 目指す街のイメージを共有化する「コンセプトブック」

〔構成〕

1. この本の意味
2. この時代
3. 時代を牽引する人のイメージ
4. アークヒルズの資産と可能性
5. アークヒルズの街づくり／コンセプト
6. アークヒルズの街づくり／育んでいくエレメント
7. アークヒルズのシンボルマーク
8. 都市の未来のために



5. アークヒルズの街づくり／コンセプト

“Global Neighborhood”

ここは様々な国籍と文化的背景を持った人が
快適でいきいきとした都市生活を営むことができる、
東京でいちばん気持ちのいい場所です。

四季を感じ、都市ならではの刺激を愉しみ、住むこと、働くこと、遊ぶことが
ボーダレスに解けあう、しなやかな毎日があります。
寛容で偏見のないオープンマインドなコミュニティが生まれ、
自主独立の気風があります。

ここは様々な専門性を持った人や企業が切磋琢磨する街です。
Intelligent Thinkerたちが互いに知り合い、共感し、シナジーを生みながら、
次代を担うビジネスやライフスタイルを創造し、発信してゆく。
そんなポジティブスパイラルが生まれます。

ここは、開かれた場所です。
ここに暮らし、働き、またここを訪れるすべての人を歓迎し、
そのアイデアに耳を傾けます。

東京の中であって、独自の国際的なコミュニティとなることで、
東京と日本の未来、そして世界の未来に貢献してゆきます。

■ エリアの魅力を伝える「ARK HILLS AREA GUIDE」

【構成】

1. NEIGHBORHOOD TALK(対談)

Facebook カントリーグロースマネージャー 児玉太郎氏× 日本財団 町井則雄氏

まちの保育園 松本理寿輝氏

× 富士ゼロックス 久保田弥生氏

建築家 伊東豊雄氏

× スウェーデン大使館 アダム・ペイエ氏

ソシエテジェネラル ローラン・デュブス氏

× ボールヘイスティングス ジョシュア・アイゼンバーグ氏

フラワーアーティスト 東信氏

× 森ビル 山口博喜氏

サントリーホール 総支配人 福本ともみ氏

× 大倉集古館 田中知佐子氏

2. コラム (ヒルズマルシェをめぐる東京の味、世界の味)

駐日アメリカ大使夫人 スーザン・H・ルース氏

駐日スペイン大使シェフ エチエンヌ・ソントグ氏

アークヒルズクラブ 鉄板焼料理長 小寺浩二氏

3. おしえて、コンシェルジュさん

アークヒルズエリアのおススメ

エリアのおススメスポットや料理など 23 名が紹介

